

数学科 中学校 1年

単元名 文字の式
啓林館「数学1」

単元の流れ (全16時間)

【第1次】 数量を文字で表すこと

主な学習内容

◇第1、2時 文字を使って数量を式に表す。文字を使って計算法則を式に表す。

【第2次】 文字の式の表し方

主な学習内容

◇第3、4時 文字を使った積と商の表し方。文字式がどのような数量を表しているか読み取る。

【第3次】 式の値

主な学習内容

◇第5、6時 文字の値がいろいろな場合の式の値を求める。

【第4次】 文字式の加法、減法

主な学習内容

◇第7～9時 項・係数・一次式の意味を理解する。文字の式の加法・減法の計算法則を理解する。

【第5次】 文字式と数の乗法、除法

主な学習内容

◇第10、11時 文字の式の乗法・除法の計算法則を理解する。

【第6次】 関係を表す式

主な学習内容

◇第12、13時 等式の意味を理解する。数量の関係を等式に表す。

◇第12時 本時の流れへ 第13時 本時の流れへ

12時評価問題

CLICK

CLICK

13時評価問題

CLICK

CLICK

【第7次】 学習のまとめ

主な学習内容

◇第14～16時 適用問題を解く。

単元目標

- 文字を使って数量を表現する。また、文字を使った計算をできるようにする

「活用」の力を育てるポイント

- ① 日常生活の場面との関連を、常に意識させる。
- ② 自分の考えを発表させることにより、互いの考えを聞く姿勢を育て、その中で多面的に思考する力を育成させる。
- ③ 本時の目標を明確にし、学習事項を書いて振り返る時間を確保する。

単元構成の意図

この単元では、数の世界から文字の世界に学習内容が移る。しかし、数は日常生活で生徒にとって身近であるのに対し、文字は日常生活とは無縁である。そこで、意図的かつ計画的な導入と、学習内容がどのように日常生活の場面と関連しているかを丁寧に説明していく必要がある。そのためにも、文字式を読み取ることを習得させることは大切である。

第6次では「関係を表す式」において、日常生活の場面を等式に表すことを発展させ、等式から日常生活の場面を想像し、式に書き表し、発表し、様々な考え方を共有できる場面を設定した。

HOME